

アズユーライク

特別勘定の現況 兼 特別勘定レポート

(2011年度)

(2012年5月発行)

● 投資環境 (2011年度)

日本株式市場

東日本大震災による景気回復の遅れが懸念されたものの、内外の経済指標が持ち直し傾向を示したこと等から、日経平均株価は上昇して始まりましたが、為替介入後も続く円高基調が敬遠されて8月には下落に転じ、震災以来4ヵ月半振りに9,000円を割り込み、さらに欧州債務問題への根強い警戒感等によって、11月には当期最安値となる8,160円に下落しました。その後は景気先行き懸念がやや後退し、為替が円安方向に転じ企業業績の改善期待から上昇し、期末の日経平均株価は10,083円で終了しました。

外国株式市場

期初、堅調に推移したものの、欧州債務問題が拡大するとの懸念や米GDP成長率が市場予想を下回ったこと等から年央に急落し、8月の米国債の格下げでS&P500は1,099.23、FTSE100は4,944.44の安値を付けました。1月には悲観的な見方が幾分緩和され、ユーロ加盟国の格下げ後も金融市場に混乱もなく、期末に向けギリシャへの第2次支援が決定したこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）が景気判断を上方修正したこと等から上昇に転じ、S&P500が1,408.47、FTSE100は5,768.45で終了しました。

日本債券市場

年度を通じて金利低下傾向となりました。期初、財政への先行き不透明感、地震復興に伴う国債増発の可能性等を背景に債券相場は下落、10年国債利回りは1.338%まで上昇しました。その後は、米国の景気減速懸念やギリシャ債務問題の不透明感から、金利は低下基調となりました。11月に米大手格付け会社が日本国債の格下げを示唆したことから債券市況は急落したものの、欧州9ヵ国の国債格下げで日本債券への選好が強まり0.946%まで低下しました。期末には若干上昇して0.989%で終了しました。

外国債券市場

期初、米国10年国債利回り3.47%、ドイツ10年国債利回り3.35%で始まりしました。ギリシャに端を発した信用不安がイタリアやスペインにも拡大し、高い信用力を持つ米国やドイツ国債に資金が集中した結果、9月には米国で1.72%、ドイツで1.67%まで低下しました。一時は株式市場やガソリン価格の上昇によるインフレ期待等から金利が上昇しましたが、欧州債務問題の不透明感等から金利は低下し、期末には米国10年国債利回りは2.21%、ドイツ10年国債利回りは1.79%で終了しました。

外国為替市場

米ドルは米国の長期金利の低下や欧州債務問題に加え、逃避通貨としての円買いから、10月には戦後最安値の1米ドル＝75.82円まで下落しました。ユーロも欧州信用不安の拡大、11月のECB（欧州中央銀行）の利下げ実施や財政問題懸念から下落を続け、1月には約11年振りのユーロ安・円高水準となる1ユーロ＝97.26円を付けました。その後は、日銀の金融緩和強化や日本の貿易赤字化等を背景に期末にかけて円安が進み、期末には、1米ドル＝82.87円、1ユーロ＝110.56円で終了しました。

● 特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

各特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



● 特別勘定の運用収支状況（2011年度）

（単位：百万円）

区分	金額					
	日本株式TM	外国株式TM	日本債券TM	外国債券TM	世界バランス30TM	バランス東海3県
利息配当金等収入	-	-	6	-	1,021	27
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	891	98	30	127	25,223	540
為替差益	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	146	36	-	29	4,559	112
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	759	92	22	52	15,271	271
為替差損	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-
収支差額	-15	-30	13	45	6,412	184

区分	金額					
	バランス債券75TM	バランス債券50TM	バランス20TM	バランス40TM	バランス80TM	マネーTM
利息配当金等収入	93	20	0	-	-	0
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	783	131	5	29	38	-
為替差益	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	89	66	0	3	3	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	605	77	1	12	34	-
為替差損	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-
収支差額	182	7	4	13	0	0

特別勘定の内容

基本プランおよび年金原資加算プランの特別勘定

種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{※1}
株式型	日本株式TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	0.3675%(税抜0.35%)程度
	外国株式TM		三菱UFJ 外国株式ファンドVA*	0.4725%(税抜0.45%)程度
債券型	日本債券TM		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.2625%(税抜0.25%)程度
	外国債券TM		三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3675%(税抜0.35%)程度
総合型	世界バランス30TM	東京海上アセット マネジメント投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
	バランス東海3県		TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.342%)程度 ^{※2}
	バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
	バランス債券50TM			0.3413%(税抜0.3250%)程度 ^{※2}
	バランス20TM		三菱UFJ MV20VA*	1.020%(税抜0.97%)程度 ^{※3}
	バランス40TM		三菱UFJ MV40VA*	1.110%(税抜1.06%)程度 ^{※3}
	バランス80TM		三菱UFJ MV80VA*	1.291%(税抜1.23%)程度 ^{※3}
	マナーTM		三菱 MRF(マナー・リザーブ・ファンド)	1.00%以内 ^{※4}
金融市場型				

年金原資保証プランの特別勘定

年金原資保証プランを選択した場合は、ご選択いただける特別勘定に制限があります。特別勘定間の積立金の移転(スイッチング)はできません。

	種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{※1}
◆運用期間が10年以上 20年未満の特別勘定	総合型	世界バランス30TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
		バランス東海3県	東京海上アセット マネジメント投信	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.342%)程度 ^{※2}
		バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
◆運用期間が20年以上 の特別勘定	総合型	世界バランス30TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.3465%(税抜0.33%)程度 ^{※2}
		バランス東海3県	東京海上アセット マネジメント投信	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3591%(税抜0.3420%)程度 ^{※2}
		バランス債券75TM	三菱UFJ投信	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3019%(税抜0.2875%)程度 ^{※2}
		バランス債券50TM			0.3413%(税抜0.3250%)程度 ^{※2}

*適格機関投資家限定

注意事項

※1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

※2 基本資産配分比率で投資した場合の費用です。

※3 三菱UFJ MV20VA/40VA/80VAはファンド・オブ・ファンズのため、信託報酬は以下ようになります。

三菱UFJ MV20VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.020%(税抜0.9713%)程度

三菱UFJ MV40VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.110%(税抜1.0573%)程度

三菱UFJ MV80VA(年率0.26775%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.291%(税抜1.2293%)程度

※4 三菱MRFについては、信託報酬は以下ようになります。

信託元本の額に、年率1%以内で以下に掲げる率(以下「信託報酬率」といいます)を乗じて得た額とします。

① 各週の最初の営業日から翌週以降の最初の営業日の前日までの毎計算期にかかる信託報酬率は、当該各週の最初の営業日の前日までの7日間の元本1万円あたりの収益分配金合計額の年換算収益分配率に0.11を乗じて得た率以内の率とします。ただし、当該率が年率0.22%以下の場合には年率0.22%以内の率とします。

② 上記にかかわらず、当該信託の日々の基準価額算出に用いるコール・ローンのオーバーナイト物レート(以下「コール・レート」といいます)が、0.4%未満の場合の信託報酬率は、当該コール・レートに0.5を乗じて得た率以内とします。

特別勘定の運用状況

2012年4月末現在

●特別勘定 純資産総額の内訳

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分(%)		純資産 総額 (百万円)
	株式		債券				有価 証券等	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式TM	●				三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	99.0%	1.0%	1,554
外国株式TM		●			三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		95.9%	4.1%	961
日本債券TM			●		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		93.9%	6.1%	477
外国債券TM				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA*		96.0%	4.0%	1,251
バランス20TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV20VA*		95.9%	4.1%	103
バランス40TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV40VA*		95.9%	4.1%	417
バランス80TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV80VA*		95.8%	4.2%	146
マネーTM			●		三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)		99.0%	1.0%	112

*適格機関投資家限定

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分		純資産 総額 (百万円)
	株式		債券				資産額 (百万円)	配分 (%)	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランス30TM	●				三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	37,135	14.8%	250,641
		●			三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		38,024	15.2%	
			●		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		82,768	33.0%	
				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA*		87,528	34.9%	
					現預金その他	-	5,183	2.1%	
バランス東海3県	●				TMA東海3県日本株式VA*	東京海上アセット マネジメント投信	867	14.8%	5,845
		●			TMA外国株式インデックスVA*		886	15.2%	
			●		TMA日本債券インデックスVA*		1,929	33.0%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		2,041	34.9%	
					現預金その他	-	120	2.1%	
バランス債券75TM	●			-	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	1,060	12.3%	8,600
		●		-	三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		1,086	12.6%	
			●	-	三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		6,276	73.0%	
					現預金その他	-	177	2.1%	
バランス債券50TM	●			-	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	三菱UFJ投信	191	24.7%	774
		●		-	三菱UFJ 外国株式ファンドVA*		195	25.3%	
			●	-	三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		356	46.0%	
					現預金その他	-	31	4.0%	

*適格機関投資家限定

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針

特別勘定の名称	運用方針																								
日本株式TM	主に東京証券取引所第一部に上場する株式に投資し、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。日本株式の価格変動リスク等があります。																								
外国株式TM	主に日本を除く世界主要国の株式に投資し、MSCIコクサイインデックス(除く日本 円換算ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。世界株式の価格変動リスク、為替変動リスク等があります。																								
日本債券TM	主に日本の公社債に投資し、NOMURA-BPI総合指数(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。金利変動リスク、信用リスク等があります。																								
外国債券TM	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本 円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
世界バランス30TM	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式15%、外国株式15%、日本債券(短期金融資産を含む)35%、外国債券35%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス東海3県	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式15%、外国株式15%、日本債券(短期金融資産を含む)35%、外国債券35%です。日本株式については、東海3県(愛知、岐阜、三重)に本社があり、証券取引所に上場している日本法人の株式を主要投資対象とします。																								
バランス債券75TM	国内外の株式および国内債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式12.5%、外国株式12.5%、日本債券(短期金融資産を含む)75%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス債券50TM	国内外の株式および国内債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式25%、日本債券(短期金融資産を含む)50%です。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。																								
バランス20TM	主に日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標とし、運用にあたっては合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。主要投資対象である投資信託証券は、ラッセル・インベストメント株式会社が運用を行います。価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等があります。 <基準ポートフォリオ> <table><tr><th></th><th>日本株式</th><th>外国株式</th><th>日本債券*</th><th>外国債券 (為替ヘッジあり)</th><th>外国債券 (為替ヘッジなし)</th></tr><tr><td>バランス20TM</td><td>15%</td><td>5%</td><td>40%</td><td>35%</td><td>5%</td></tr><tr><td>バランス40TM</td><td>30%</td><td>10%</td><td>30%</td><td>25%</td><td>5%</td></tr><tr><td>バランス80TM</td><td>55%</td><td>25%</td><td>10%</td><td>5%</td><td>5%</td></tr></table> *短期金融資産1%を含む		日本株式	外国株式	日本債券*	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)	バランス20TM	15%	5%	40%	35%	5%	バランス40TM	30%	10%	30%	25%	5%	バランス80TM	55%	25%	10%	5%	5%
		日本株式	外国株式	日本債券*	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)																			
バランス20TM		15%	5%	40%	35%	5%																			
バランス40TM		30%	10%	30%	25%	5%																			
バランス80TM	55%	25%	10%	5%	5%																				
バランス40TM																									
バランス80TM																									
マネーTM	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。短期金融商品に金利変動リスクがあります。																								

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2012年4月末現在

ユニットプライス

日本株式TM



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	-6.01%	6.47%	4.57%	-6.34%	69.74

ユニットプライス

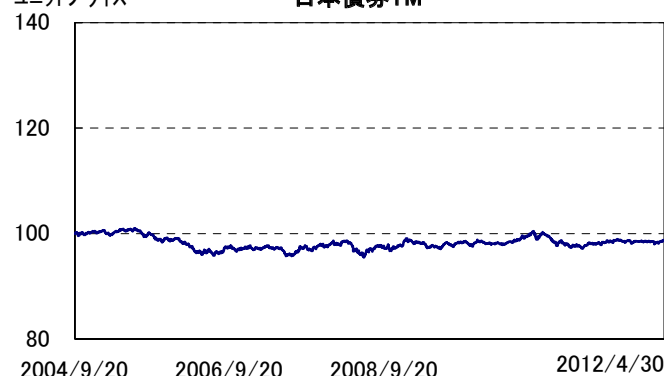
外国株式TM



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	-1.90%	10.84%	8.21%	-6.77%	93.19

ユニットプライス

日本債券TM



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	0.34%	0.18%	0.44%	0.97%	98.72

ユニットプライス

外国債券TM



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	-1.25%	6.41%	3.90%	-0.43%	94.89

ユニットプライス

世界バランス30TM



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	-1.54%	5.21%	3.83%	-1.23%	92.65

ユニットプライス

バランス東海3県



期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
	-1.54%	5.52%	4.30%	-0.47%	86.05

※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

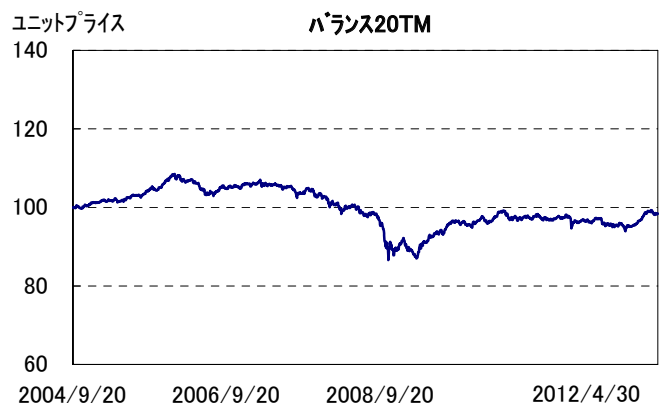
2012年4月末現在



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-0.74%	2.51%	2.27%	-0.37%	97.04



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-1.84%	4.80%	3.97%	-2.03%	94.25



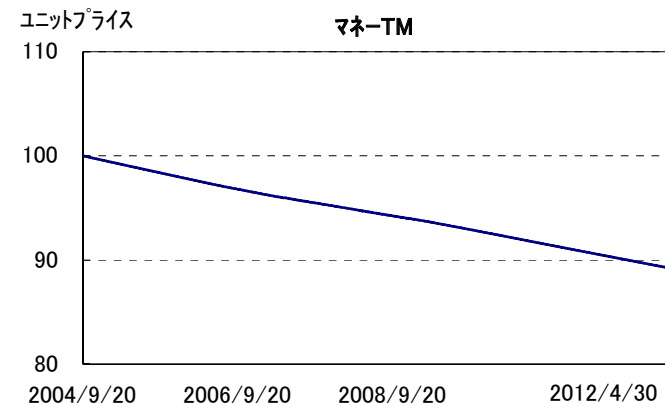
期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-0.75%	2.06%	2.48%	2.04%	98.41



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-1.77%	3.69%	3.28%	0.46%	94.38



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-3.68%	7.18%	4.99%	-3.35%	86.25



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2012年4月末現在
収益率	-0.13%	-0.39%	-0.79%	-1.58%	89.17

※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
 ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

三菱UFJ トピックスインデックスファンドV A（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

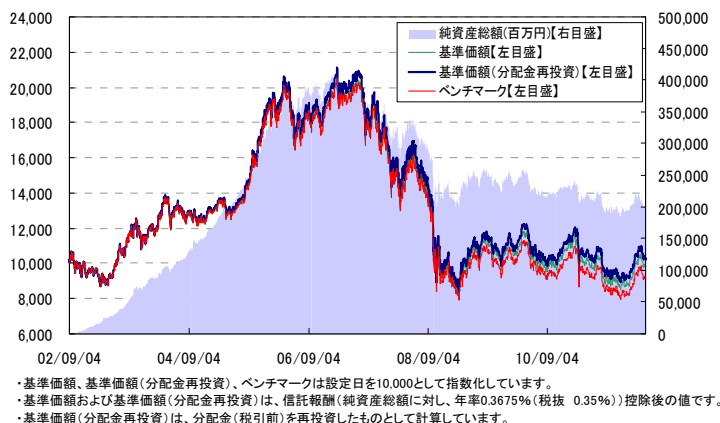
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



◆ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	9,782円	10,395円	-613円
純資産総額(百万円)	199,756	211,847	-12,090

	基準価額	日付
設定来高値	20,529円	2007/2/26
設定来安値	8,161円	2009/3/12

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	
分配金	0円	100円	100円	0円	0円	100円	600円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.57%	13.57%
2	輸送用機器	10.71%	10.71%
3	銀行業	9.50%	9.50%
4	情報・通信業	6.27%	6.27%
5	化学	5.96%	5.95%
6	卸売業	5.59%	5.59%
7	機械	5.18%	5.17%
8	医薬品	4.78%	4.78%
9	小売業	4.33%	4.32%
10	陸運業	3.90%	3.90%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券 (日本の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(東証株価指数(TOPIX))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンドは、日本の株式を主要投資対象とします。 ③主に三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券に投資しますが、日本の株式に直接投資することもあります。 ④株式以外への資産の投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%)

◆運用資産構成

	2012/4/27	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.71%	99.71%	1.00%
内 現物	98.93%	97.76%	1.17%
内 先物	1.78%	1.94%	-0.17%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-5.90%	7.54%	6.40%	-3.71%	1.07%	2.28%
ベンチマーク	-5.86%	6.49%	5.26%	-5.59%	-4.00%	-9.26%
差	-0.04%	1.05%	1.13%	1.87%	5.07%	11.54%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆組入上位15銘柄

(組入銘柄数: 1612 銘柄)

	銘柄	業種	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.86%	3.90%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.61%	2.63%
3	ホンダ	輸送用機器	2.20%	2.23%
4	キヤノン	電気機器	2.05%	2.08%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.74%	1.76%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.48%	1.50%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.45%	1.47%
8	ファナック	電気機器	1.27%	1.29%
9	武田薬品工業	医薬品	1.23%	1.25%
10	三菱商事	卸売業	1.13%	1.14%
11	日立製作所	電気機器	1.06%	1.07%
12	コマツ	機械	1.02%	1.03%
13	NTTドコモ	情報・通信業	1.00%	1.01%
14	JT	食料品	0.99%	1.00%
15	ソフトバンク	情報・通信業	0.97%	0.98%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

■東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

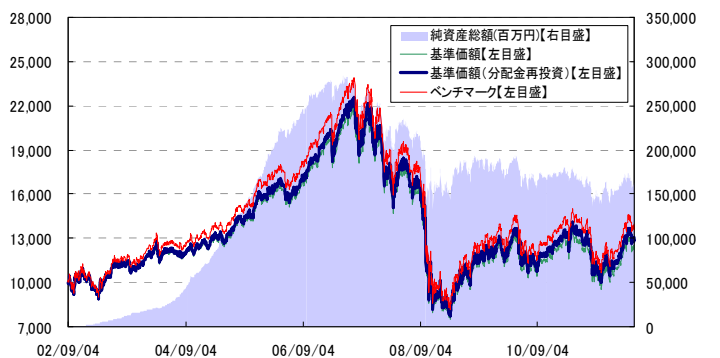
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.4725%(税抜 0.45%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

◆ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	12,550円	12,785円	-235円
純資産総額(百万円)	162,870	166,038	-3,168

	基準価額	日付
設定来高値	21,932円	2007/7/20
設定来安値	7,540円	2009/3/10

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	
分配金	0円	100円	100円	0円	0円	100円	600円

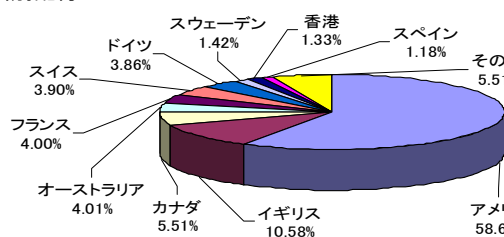
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆組入上位10業種

	業種	比率
1	エネルギー	11.92%
2	医薬品・バイオテック・ライフ	7.84%
3	資本財	7.46%
4	銀行	7.33%
5	素材	7.14%
6	食品・飲料・タバコ	7.09%
7	ソフトウェア・サービス	6.14%
8	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.15%
9	各種金融	4.63%
10	保険	4.04%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆国別配分



◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 外国株式マザーファンド受益証券 (外国の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 外国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 外国株式マザーファンドは、日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.4725%(税抜 0.45%)

◆運用資産構成

	2012/4/27	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.91%	99.69%	0.21%
内 現物	96.96%	97.02%	-0.06%
内 先物	2.95%	2.67%	0.27%

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・REITの組入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.84%	11.75%	9.46%	-5.49%	31.21%	31.03%
ベンチマーク	-1.58%	12.00%	9.44%	-4.82%	32.28%	39.66%
差	-0.26%	-0.25%	0.03%	-0.67%	-1.07%	-8.63%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1247 銘柄)

	銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.45%	2.53%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.79%	1.85%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.05%	1.09%
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.05%	1.08%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.92%	0.95%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.90%	0.93%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.87%	0.90%
8	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.84%	0.86%
9	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.80%	0.82%
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテック・ライフ	0.77%	0.79%

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

■MSCIロクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。MSCIロクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース)は、MSCIロクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIロクサイ インデックスはMSCI Inc.の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc.のサービスマークです。

三菱UFJ 日本債券ファンドV A（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

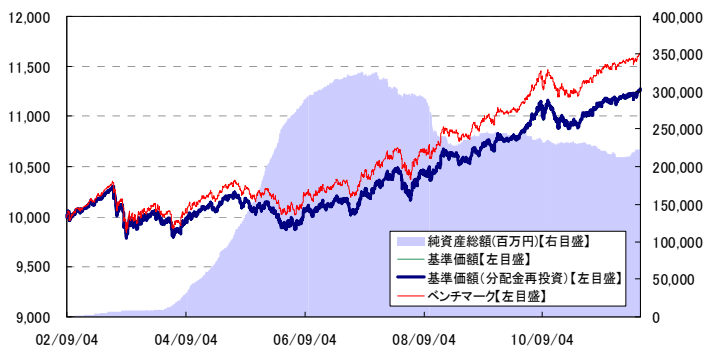
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。

・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%(税抜 0.25%))控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

◆ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	11,269円	11,212円	+57円
純資産総額(百万円)	221,353	222,681	-1,328

	基準価額	日付
設定来高値	11,269円	2012/4/27
設定来安値	9,786円	2004/6/17

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	10円

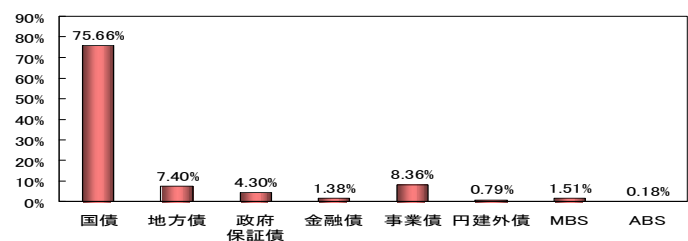
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	0.69%	平均残存年数	8.40年
直接利回り	1.39%		
デュレーション	7.12年		

・数値は、デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆種別配分



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆債券の格付分布

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	88.62%	587
AA格	8.58%	201
A格	2.38%	58
BBB格	0.00%	0
BB格以下	0.00%	0
無格付	0.00%	0

・格付の振分基準は、次の通りです。
AA格(AA+、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)、
A格(A+、A-、A1、A2、A3)、
BBB格(BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)、
BB格(BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)

・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。また日本の金融債については発行体格付を採用しています。

・格付分布はR&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 国内債券マザーファンド受益証券(日本の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 国内債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(NOMURA—BPI総合指数)に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 国内債券マザーファンドは、日本の公社債を主要投資対象とします。 ③日本の公社債に直接投資することもできます。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.2625%(税抜 0.25%)

◆運用資産構成

	2012/4/27	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.58%	100.31%	-0.74%
内 現物	99.58%	100.31%	-0.74%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

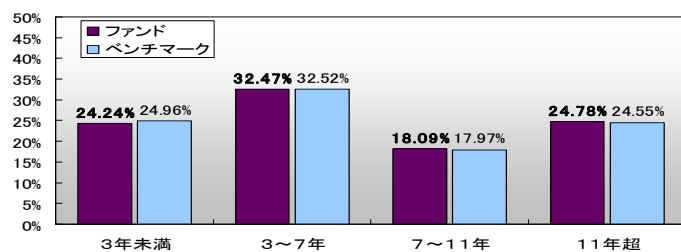
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.51%	0.63%	1.36%	2.82%	6.65%	12.80%
ベンチマーク	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%	16.38%
差	-0.01%	-0.06%	-0.13%	-0.25%	-0.98%	-3.58%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆残存別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 846 銘柄)				
銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第256回利付国債(10年)	国債	1.400%	2013/12/20	1.45%
2 第319回利付国債(10年)	国債	1.100%	2021/12/20	1.36%
3 第101回利付国債(5年)	国債	0.400%	2016/12/20	1.36%
4 第97回利付国債(5年)	国債	0.400%	2016/6/20	1.32%
5 第89回利付国債(5年)	国債	0.400%	2015/6/20	1.26%
6 第99回利付国債(5年)	国債	0.400%	2016/9/20	1.20%
7 第317回利付国債(10年)	国債	1.100%	2021/9/20	1.19%
8 第312回利付国債(10年)	国債	1.200%	2020/12/20	1.14%
9 第289回利付国債(10年)	国債	1.500%	2017/12/20	1.14%
10 第88回利付国債(5年)	国債	0.500%	2015/3/20	1.12%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

■NOMURA—BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA—BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

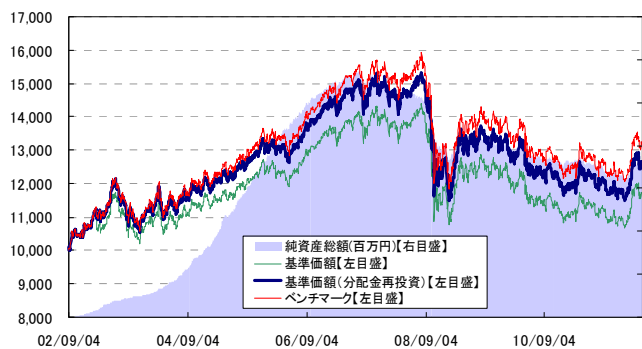
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%))控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

◆ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	11,736円	11,874円	-138円
純資産総額(百万円)	172,650	176,511	-3,862

	基準価額	日付
設定来高値	14,379円	2008/8/7
設定来安値	10,000円	2002/9/4

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	
分配金	0円	0円	100円	0円	0円	100円	850円

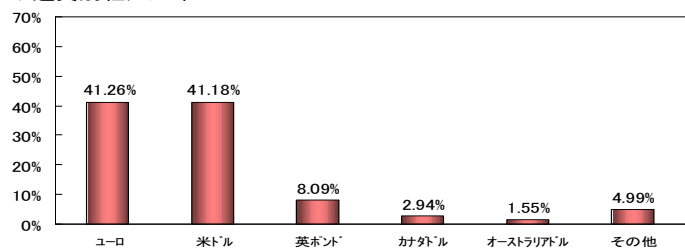
・1万円当たりの税引前分配金実績です。

◆利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	1.97%	平均残存年数	7.93年
直接利回り	3.15%		
デュレーション	6.10年		

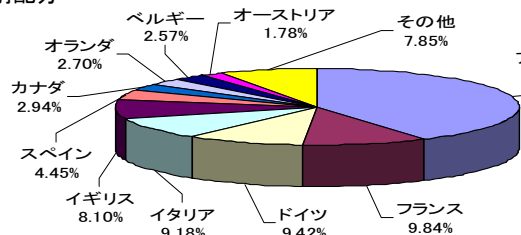
・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆通貨別組入比率



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆国別配分



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

■シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

◆商品概要

主要投資対象	三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券 (外国の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②三菱UFJ 外国債券マザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市場動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.3675%(税抜 0.35%)

◆運用資産構成

	2012/4/27	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.82%	99.78%	0.04%
内 現物	99.82%	99.78%	0.04%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

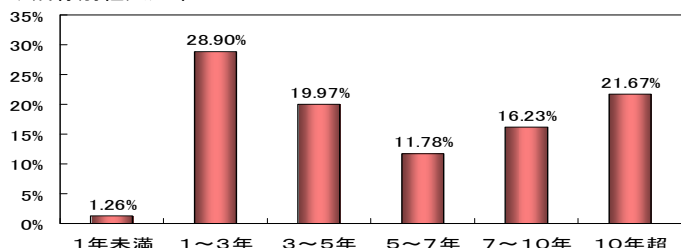
・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.16%	7.13%	4.95%	1.26%	-4.24%	26.31%
ベンチマーク	-1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	-2.68%	31.88%
差	0.11%	0.18%	-2.14%	0.10%	-1.57%	-5.57%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆残存別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 620 銘柄)

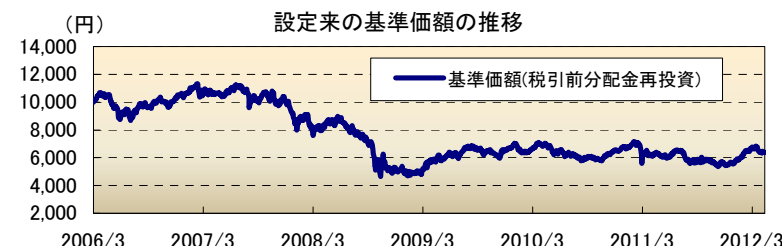
	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/2/15	アメリカ	0.58%
2	3.125 T-NOTE 210515	国債	3.125%	2021/5/15	アメリカ	0.57%
3	3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.48%
4	2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	0.48%
5	4.25 T-BOND 401115	国債	4.25%	2040/11/15	アメリカ	0.42%
6	3.5 T-NOTE 200515	国債	3.500%	2020/5/15	アメリカ	0.39%
7	2 T-NOTE 211115	国債	2.000%	2021/11/15	アメリカ	0.39%
8	4.375 T-BOND 410515	国債	4.375%	2041/5/15	アメリカ	0.38%
9	2.625 T-NOTE 200815	国債	2.625%	2020/8/15	アメリカ	0.38%
10	4.375 T-BOND 400515	国債	4.375%	2040/5/15	アメリカ	0.37%

・比率は純資産総額に対する割合です。

TMA東海3県日本株式VA・TMA外国株式インデックスVA <適格機関投資家限定>

- 投資型年金保険アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA東海3県日本株式VA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-5.89	-36.23

純資産総額

868 百万円

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 50銘柄)

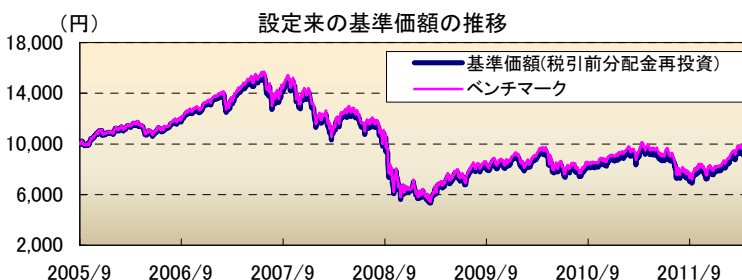
No	銘柄	業種名	比率(%)
1	デンソー	自動車	7.48
2	東海旅客鉄道	運輸	7.48
3	トヨタ自動車	自動車	7.26
4	中部電力	公益	6.04
5	アイシン精機	自動車	4.72
6	豊田自動織機	自動車	4.25
7	豊田通商	商社	3.51
8	マキタ	機械	2.82
9	日本碍子	基礎素材	2.17
10	ブラザー工業	産業用エレクトロニクス	2.16

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	30.10
2	機械	11.53
3	運輸	9.73
4	公益	7.83
5	小売り	5.96
6	サービス	5.49
7	商社	4.96
8	銀行	4.83
9	電子部品	3.49
10	基礎素材	3.43

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド(TMA東海3県マザーファンド)ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

◆TMA外国株式インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-1.82	-9.30
ベンチマーク	-2.08	-5.61
差	+0.26	-3.69

純資産総額

80,957 百万円

※ベンチマークはMSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月26日)。

※MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。

同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCIは当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任にも負いません。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1051銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.49
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.82
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.07
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.06
5	CHEVRONTXACO CORP	アメリカ	エネルギー	0.93
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.92
7	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.88
8	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.85
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.81
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.78

組入上位10カ国

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	57.83
2	イギリス	10.39
3	カナダ	5.40
4	フランス	3.91
5	オーストラリア	3.86
6	スイス	3.84
7	ドイツ	3.81
8	スウェーデン	1.37
9	香港	1.29
10	オランダ	1.14

組入上位10業種

No	業種	比率(%)
1	エネルギー	11.71
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.68
3	資本財	7.41
4	銀行	7.14
5	素材	7.00
6	食品・飲料・タバコ	6.96
7	ソフトウェア・サービス	6.12
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.98
9	各種金融	4.57
10	保険	3.95

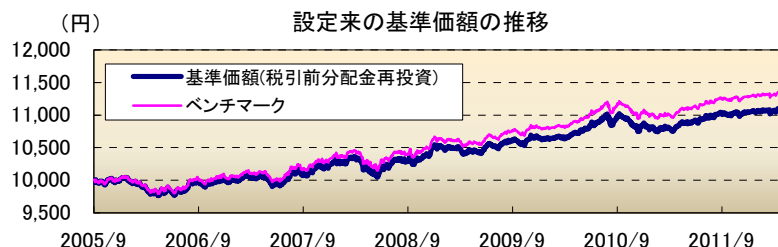
※組入上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種はマザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

TMA日本債券インデックスVA・TMA外国債券インデックスVA <適格機関投資家限定>

- 投資型年金保険アズーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA日本債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.50	+11.30
ベンチマーク	+0.52	+13.86
差	-0.02	-2.56

純資産総額

107,765 百万円

※ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)で、上記グラフ上設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月29日)。NOMURA-BPI(総合)とは、野村證券が公表する日本の公債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 529銘柄)

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第88回利付国債(5年)	0.50	2015/03/20	1.73
2	第305回利付国債(10年)	1.30	2019/12/20	1.37
3	第87回利付国債(5年)	0.50	2014/12/20	1.36
4	第312回利付国債(10年)	1.20	2020/12/20	1.29
5	第306回利付国債(10年)	1.40	2020/03/20	1.24
6	第81回利付国債(5年)	0.80	2014/03/20	1.24
7	第99回利付国債(5年)	0.40	2016/09/20	1.13
8	第320回利付国債(10年)	1.00	2021/12/20	1.12
9	第35回利付国債(30年)	2.00	2041/09/20	1.10
10	第262回利付国債(10年)	1.90	2014/06/20	0.97

債券種別比率

種別	比率(%)
国債	76.00
地方債	7.84
政保・特殊債	6.88
金融債	0.10
事業債等	8.53

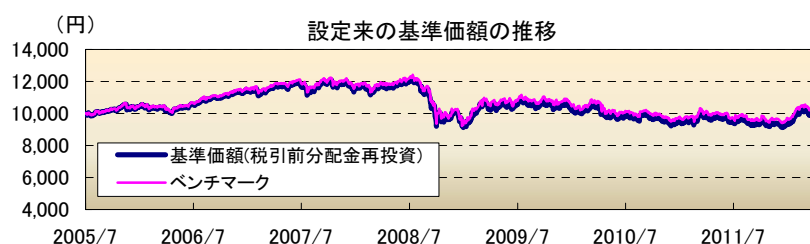
ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	0.67
平均クーポン(%)	1.50
平均残存年数(年)	8.15
修正デュレーション(年)	7.17

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

※ポートフォリオの状況は途中償還等を考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-1.16	+0.18
ベンチマーク	-1.27	+2.87
差	+0.11	-2.69

純資産総額

110,781 百万円

出所: Thomson Datastream

※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年7月29日)。※シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 375銘柄)

No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	1.500	2013/12/31	米ドル	1.36
2	米国債	8.750	2020/08/15	米ドル	1.18
3	米国債	3.375	2019/11/15	米ドル	1.16
4	米国債	4.500	2016/02/15	米ドル	0.97
5	米国債	4.375	2039/11/15	米ドル	0.93
6	ドイツ国債	3.250	2020/01/04	ユーロ	0.92
7	米国債	8.125	2019/08/15	米ドル	0.86
8	米国債	3.375	2013/06/30	米ドル	0.85
9	米国債	7.250	2016/05/15	米ドル	0.77
10	ドイツ国債	3.750	2013/07/04	ユーロ	0.77

通貨別比率(組入上位5通貨)

通貨	比率(%)
米ドル	40.66
ユーロ	40.43
英ポンド	7.94
カナダ・ドル	2.89
豪ドル	1.53

ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	1.97
平均クーポン(%)	4.16
平均残存期間(年)	8.26
修正デュレーション(年)	6.11

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき東京海上アセットマネジメント投信株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント投信株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【組入投信の運用概況】

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）

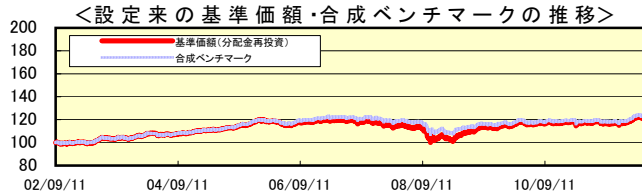
- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	-0.64%	-0.63%
直近3ヵ月	2.59%	2.57%
直近6ヵ月	3.47%	3.54%
直近1年	3.92%	3.91%
設定以来	21.64%	23.25%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

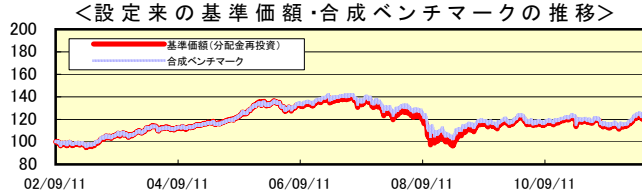


・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX15%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)5%、NOMURA-BPI総合指数30%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)35%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有価証券レート翌日物1%で組み合わせた指数です。

三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	-1.71%	-1.64%
直近3ヵ月	4.28%	4.33%
直近6ヵ月	4.29%	4.59%
直近1年	2.20%	2.55%
設定以来	21.01%	23.11%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

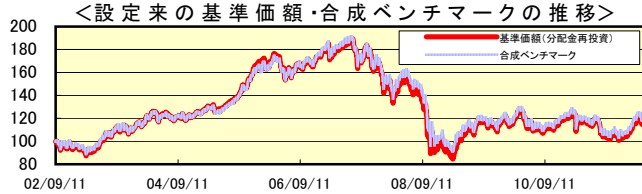


・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)25%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有価証券レート翌日物1%で組み合わせた指数です。

三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

騰落率(分配金再投資)	ファンド	ベンチマーク
直近1ヵ月	-3.70%	-3.45%
直近3ヵ月	7.93%	7.97%
直近6ヵ月	6.13%	6.61%
直近1年	-1.80%	-0.70%
設定以来	16.02%	19.46%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。



・上記グラフの基準価額(分配金再投資)および合成ベンチマークは、設定日(2002年9月11日)を100として指数化したものです。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・合成ベンチマークは、配当込みTOPIX55%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)25%、NOMURA-BPI総合指数0%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)5%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有価証券レート翌日物1%で組み合わせた指数です。

・配当込みTOPIXとは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。配当込みTOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の停止または配当込みTOPIXの廃止の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)は、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース 配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ インデックスはMSCI Inc.の財産であり、MSCI Inc.のサービスです。
・NOMURA-BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建て外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産であり、各ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)ならびにシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。
〔注〕各合成ベンチマークの計算にあたっては、委託会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

ファンド現況(月末時点)

	純資産総額
2012/04/27	2,844 百万円
2012/03/30	2,826 百万円
2012/02/29	2,815 百万円
2012/01/31	2,767 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入

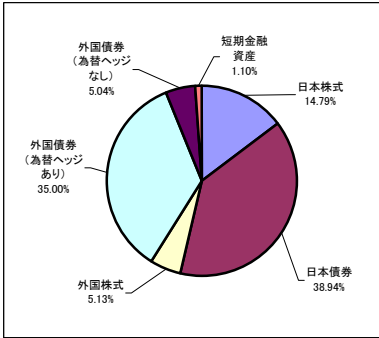
分配金実績(税引前)

	決算日	分配金
直近期	2011/12/12	0 円
2期前	2010/12/13	100 円
3期前	2009/12/14	100 円
4期前	2008/12/12	0 円
5期前	2007/12/12	0 円
6期前	2006/12/12	0 円
設定来累計		500 円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

実質組入比率

・比率は純資産総額に対する各投資対象ファンドの割合



ファンド現況(月末時点)

	純資産総額
2012/04/27	6,542 百万円
2012/03/30	6,701 百万円
2012/02/29	6,748 百万円
2012/01/31	6,497 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入

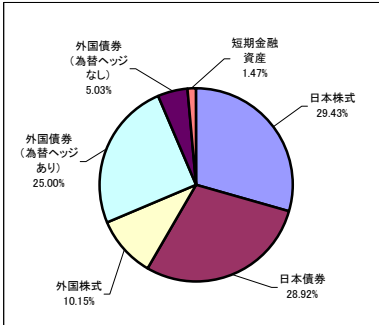
分配金実績(税引前)

	決算日	分配金
直近期	2011/12/12	0 円
2期前	2010/12/13	100 円
3期前	2009/12/14	100 円
4期前	2008/12/12	0 円
5期前	2007/12/12	0 円
6期前	2006/12/12	0 円
設定来累計		500 円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

実質組入比率

・比率は純資産総額に対する各投資対象ファンドの割合



ファンド現況(月末時点)

	純資産総額
2012/04/27	4,001 百万円
2012/03/30	4,273 百万円
2012/02/29	4,173 百万円
2012/01/31	3,883 百万円

・純資産総額は百万円未満四捨五入

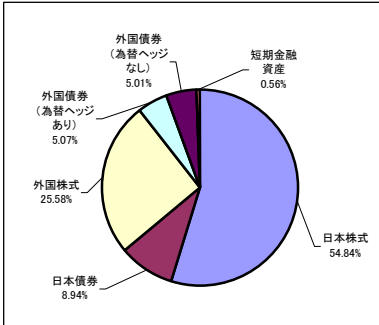
分配金実績(税引前)

	決算日	分配金
直近期	2011/12/12	0 円
2期前	2010/12/13	0 円
3期前	2009/12/14	100 円
4期前	2008/12/12	0 円
5期前	2007/12/12	0 円
6期前	2006/12/12	100 円
設定来累計		500 円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

実質組入比率

・比率は純資産総額に対する各投資対象ファンドの割合



三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

【4月の市況概況】

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

4月の海外株式相場は軟調な展開となりました。米国では、良好な企業決算が相次いだものの、雇用や設備投資等の経済指標が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が強まりました。ユーロ圏では、スペイン国債の低調な入札結果を受けて欧州の債務問題に対する懸念が再燃しました。こうした中、海外株式相場は、欧州の債務問題に対する懸念の再燃や軟調な米経済指標等を受けて下落基調となりました。その後、月末にかけて、米企業の好調な決算発表等を受けて上昇に転じましたが、最終的に前月末をやや下回る水準で終わりました。

国内株式相場も下落しました。国内では、足下の景気は横ばいながら、輸出や雇用、消費等の経済指標で改善の兆しが見られました。こうした中、国内株式相場は、米雇用統計が市場予想を下回ったことや欧州の債務問題に対する懸念が再燃したことに加え、円高進行も相場の重石となり、下落基調で推移しました。月末には、日銀が追加金融緩和の実施を決定したものの、相場を押し上げるには至らず、最終的に前月末を下回る水準で終わりました。

海外債券相場はやや強含みの展開(債券利回りは低下)となりました。前月末に2.2%台前半であった米国10年物国債利回りは、3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録公表を受けて追加金融緩和への期待が後退したことから上昇して始まりました。しかし、その後は、米雇用統計が市場予想を下回ったことや欧州の債務問題に対する懸念の再燃等を背景に低下基調となり、最終的に1.9%台前半で月を終えました。前月末に1.7%台後半であったドイツ10年物国債利回りも、欧州の債務問題に対する懸念の再燃等を背景にリスク回避の動きが高まったことから低下基調となり、最終的に1.6%台後半で月を終えました。

国内債券相場は上昇しました。前月末に0.9%台後半であった10年物国債利回りは、月初は、米国での追加金融緩和への期待が後退したこと等を背景に上昇して始まりました。しかし、その後は、欧州の債務問題に対する懸念の再燃等を受けて低下基調となりました。月末には、日銀による追加金融緩和の実施も金利低下要因となり、最終的に0.8%台後半で月を終えました。為替市場では、ドル/円相場は3.0%の円高、ユーロ/円相場は3.6%の円高となりました。

ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約13兆円※となっています。

(※ 2012年3月末現在、為替換算レート:82.29円/ドル)

ラッセル・インベストメント株式会社

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変動個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

【各投資信託証券の運用経過及び運用状況】

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル 日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2012年4月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	-19.7%	-4.9%	7.3%
ベンチマーク	-24.2%	-3.4%	9.0%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	5.0%	6.6%	-6.0%
ベンチマーク	6.5%	7.7%	-5.9%
組入銘柄数		392 銘柄	

株式保有上位10銘柄

銘柄	業種	組入比率※1
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.8%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.0%
三菱商事	卸売業	2.3%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.3%
日本電信電話	情報・通信業	2.2%
三井物産	卸売業	2.0%
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	2.0%
日産自動車	輸送用機器	1.9%
オリックス	その他金融業	1.6%
日立製作所	電気機器	1.4%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3.運用状況

4月の国内株式相場は下落しました(TOPIX(配当込み)は前月末比5.9%下落)。こうした中、ラッセル 日本株式ファンドⅡの基準価額は前月末比6.0%下落しました。国内株式相場は、米雇用統計が市場予想を下回ったことや欧州の債務問題に対する懸念が再燃したことに加え、円高進行を受けて企業業績の悪化懸念が高まったことも相場の重石となり、下落基調で推移しました。月末には、日銀が追加金融緩和の実施を決定したものの、相場を押し上げるには至らず、最終的に前月末を下回る水準で終えました。スタイル別では、Russell/Nomuraグロース指数は4.2%の下落、同バリュース指数は7.4%の下落となり、グロース優位の展開となりました。

ラッセル 外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

(2012年4月末)			
ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	-0.5%	-5.3%	16.7%
ベンチマーク	5.8%	-5.7%	15.5%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	11.5%	14.2%	-2.2%
ベンチマーク	10.9%	10.4%	-3.8%
組入銘柄数		346 銘柄	

株式保有上位10銘柄

銘柄	通貨	組入比率※1
APPLE INC	USD	2.7%
NESTLE SA-REG	CHF	1.9%
DIAGEO PLC	GBP	1.5%
INTEL CORP	USD	1.4%
VISA INC-CLASS A SHARES	USD	1.4%
CIE FINANCIERE RICHEMON-BR A	CHF	1.3%
WELLS FARGO & CO	USD	1.2%
ACCENTURE PLC-CL A	USD	1.1%
AKZO NOBEL	EUR	1.1%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	KRW	1.0%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合(投資信託除く)

3.運用状況

4月の海外株式相場は軟調な展開となりました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比3.8%下落)。こうした中、ラッセル 外国株式ファンドⅡの基準価額は前月末比2.2%下落しました。米国株式相場は、欧州の債務問題に対する懸念の再燃や軟調な米経済指標等を受けて下落基調となりました。その後、月末にかけて、米企業的好調な決算発表等を受けて上昇に転じましたが、最終的に前月末をやや下回る水準で終えました。欧州株式相場も、欧州の債務問題に対する懸念が再燃したことに加え、5月のフランス大統領選やギリシャ総選挙等を控え、緊縮財政継続等の政局面への懸念も高まったこと等を背景に下落基調となり、前月末を下回る水準で終えました。為替市場では、対米ドル、対ユーロともに円高となりました。

運用成果はラッセル 日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)及びラッセル 外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)に関するもので、上位10業種の配分、地域別配分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル 日本株式マザーファンド及び、ラッセル 外国株式マザーファンドについての記述です。

運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りと異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績あるいは将来の成果を保証するものではありません。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

2.ファンドの内容

上位10業種の配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2012年4月末)			
業種	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
電気機器	11.7%	13.6%	-7.6%
銀行業	11.4%	9.5%	-6.9%
輸送用機器	9.7%	10.7%	-6.5%
卸売業	9.1%	5.6%	-5.3%
情報・通信業	7.7%	6.3%	-2.8%
化学	6.8%	6.0%	-3.8%
小売業	5.4%	4.3%	-2.7%
機械	4.5%	5.2%	-4.7%
陸運業	2.9%	3.9%	-4.0%
その他金融業	2.9%	0.8%	-2.0%

ベンチマーク: TOPIX(配当込み)

TOPIXは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、株式会社東京証券取引所はその確実性および完結性に責任を負うものではありません。

外部委託運用会社

運用会社

三井住友信託銀行(注)

セブラ・キャピタル・マネジメント

アライアンス・パースタイン

ラッセル・インプリメンテーション・サービス

ファンネクス・アセット・マネジメント

※2 キャッシュ・エクイタイゼーション(流動資産の株式化)部分を除きます。

(注)住友信託銀行は、2012年4月1日付で中央三井信託銀行および中央三井アセット信託銀行と合併し、三井住友信託銀行に商号変更しました。

運用スタイル

グロース型

バリュース型

バリュース型

バリュース型

マーケット・オリエンテッド型

目標配分割合※2

25%

20%

20%

10%

25%

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2012年4月末)			
地域	ファンド※2	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
北米地域	58.5%	64.1%	-3.5%
ユーロ地域	18.9%	12.4%	-8.3%
ユーロ除く欧州	18.5%	16.9%	-2.5%
その他	4.0%	6.6%	-1.5%

※2 組入比率は株式及び先物等の評価額合計に対する割合(投資信託含む)

ベンチマーク: MSCI KOKUSAI(配当込み)

MSCI KOKUSAIインデックスに関する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは禁じられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。

外部委託運用会社

運用会社

マクシナリー・キャピタル・マネジメント

マシコ・キャピタル・マネジメント

ハリス・アソシエイツ

エムエフエス・インスティテュショナル・アドバイザーズ

アローストリート・キャピタル

※3 キャッシュ・エクイタイゼーション(流動資産の株式化)部分を除きます。

運用スタイル

グロース型

グロース型

バリュース型

マーケット・オリエンテッド型

マーケット・オリエンテッド型

目標配分割合※3

15%

15%

15%

30%

25%

【組入投信の運用概況】	2012年04月27日現在
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）	
・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変動個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。	

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

【各投資信託証券の運用経過及び運用状況】
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
ラッセル 日本債券ファンド Ⅲ(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日2002年9月12日

(2012年4月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率			
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	12.6%	3.0%	0.9%
ベンチマーク	15.7%	3.1%	1.1%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	1.3%	0.6%	0.5%
ベンチマーク	1.5%	0.7%	0.5%

ベンチマーク: NOMURA-BPI総合指数

NOMURA-BPI総合指数は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIは、野村證券株式会社で作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

2.ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率（2012年4月末）

種別	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
国債	77.3%	76.7%	0.5%
地方債	0.0%	7.3%	0.6%
政保債	0.0%	4.2%	0.5%
金融債	0.0%	1.3%	0.1%
事業債	19.3%	8.2%	0.4%
円建外債	0.0%	0.7%	0.5%
MBS／ABS	0.0%	1.5%	0.5%
その他	3.4%	—	—

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
りそな銀行	広範囲型	50%
DIAMアセットマネジメント	広範囲型	50%

3.運用状況
4月の国内債券相場は上昇(債券利回りは低下)しました(NOMURA-BPI総合指数は前月末比0.5%上昇)。こうした中、ラッセル 日本債券ファンドⅢの基準価額は前月末比0.5%上昇しました。国内債券相場は、月初は、3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事録公表を受けて米国での追加金融緩和への期待が後退したこと等を背景に下落して始まりました。しかし、その後は、欧州の債務問題に対する懸念の再燃や軟調な米経済指標等を受けて投資家のリスク回避傾向が高まり、上昇基調に転じました。月末には、日銀が追加金融緩和の実施を決定したことも上昇材料となり、最終的に前月末を上回る水準で終えました。

ラッセル 外国債券ファンド Ⅲ(適格機関投資家限定)
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

1.運用成果

Aコース

設定日2002年9月12日

(2012年4月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	32.4%	9.3%	3.7%
ベンチマーク	26.8%	7.7%	2.2%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	4.1%	0.6%	0.6%
ベンチマーク	2.8%	0.3%	0.6%

Bコース

設定日2002年9月12日

(2012年4月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	36.0%	3.1%	8.8%
ベンチマーク	28.8%	1.0%	5.9%
	過去6か月	過去3か月	過去1か月
ファンド	6.0%	7.7%	-0.9%
ベンチマーク	3.3%	5.9%	-2.5%

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率(2012年4月末)

地域	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率(ヘッジあり)	ベンチマーク収益率(ヘッジなし)
北米地域	34.1%	44.4%	1.3%	-1.6%
ユーロ地域	42.6%	41.0%	-0.2%	-3.8%
ユーロ除く欧州	6.4%	11.0%	0.5%	-1.5%
その他	16.8%	3.5%	1.2%	-1.3%

※1 組入比率は債券及び先物等の評価額合計に対する割合

ベンチマーク

Aコース:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

Bコース:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

外部委託運用会社

運用会社

運用スタイル

目標配分割合

コルチエスター・グローバル・インベスターズ

マクロ・バリュー型

35%

ビムコ

一般債重視型

65%

3.運用状況
4月の海外債券相場はやや強含みの展開(債券利回りは低下)となりました(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は円高のため前月末比2.5%下落)。こうした中、ラッセル 外国債券ファンドⅢの基準価額はAコースで前月末比0.6%の上昇、Bコースで0.9%の下落となりました。米国債券相場は、雇用統計が市場予想を下回ったことや欧州の債務問題に対する懸念の再燃等を背景に上昇し、前月末を上回る水準で終えました。欧州債券相場においては、ドイツ国債が欧州の債務問題に対する懸念の再燃等を背景にリスク回避傾向が高まり上昇しましたが、スペインやイタリア等の国債は下落し、欧州全体では前月末を下回る水準で終えました。為替市場では、対米ドル、対ユーロともに円高となりました。

運用成果はラッセル 日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)及び、ラッセル 外国債券ファンドⅢAコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル 日本債券マザーファンド及び、ラッセル 外国債券マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【組入投信の運用概況】	2012年04月27日現在
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）	
・投資型年金保険 アズーライク(多機能付変動個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。 また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。	

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間：無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を目指す追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト	
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。	
ラッセル 日本株式ファンド II（適格機関投資家限定） ラッセル 日本株式ファンド II（適格機関投資家限定）の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。 ＜ラッセル 日本株式マザーファンド＞ ラッセル 日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。グロース型、バリュース型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。 グロース型 三井住友信託銀行(日本)(注) 三井住友信託銀行のグロース株式運用は、短期的な企業業績の変化をきめ細かく調べ、企業が長期的な成長過程にあるかどうかを的確に見極めている投資プロセスが特徴です。アナリストチームが詳細に調査分析し、ポートフォリオ・マネージャーが企業のビジネス・モデルや業界環境、製品やサービスの競争力、参入障壁、競合企業の動向などの観点から成長企業を選別してポートフォリオを構築します。 (注)住友信託銀行は、2012年4月1日付で中央三井信託銀行および中央三井アセット信託銀行と合併し、三井住友信託銀行に商号変更しました。 バリュース型 ゼブラ・キャピタル・マネジメント(米国) ゼブラは、流動性プレミアム(一般的に取引量が少ない銘柄はその割安に位置される傾向にあります。)の大きい銘柄が長期的に高いリターンをもたらすという考えに基づき、株式相場での流動性プレミアムを的確に捉える独自の定量分析を行います。構築されるポートフォリオは、低PBR(株価純資産倍率)や中小型株寄り等の特性を持ちます。 バリュース型 アライアンス・パースタイン(日本、香港) アライアンスのバリュース株式運用は、綿密かつ質の高い企業調査とクオンツ・モデルを併用し、現在の株価と本質的な企業価値の差を捉えることにより超過収益の獲得を目指すというものです。クオンツ・モデルを用いた業種内およびグローバル・セクター間での相対バリュエーション(投資価値)比較により銘柄を選別、更にアナリストが詳細な調査に基づき長期の収益およびパフォーマンスを予想、割安に位置されている銘柄を見出します。 バリュース型 ラッセル・インプリメンテーション・サービシーズ(米国) ラッセル・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にファンドの一部についての運用を行います。当該部分においては低PBR(株価純資産倍率)銘柄を中心としたポートフォリオ(ティップ・バリュース)を構築することにより、ファンドの低PBR特性を補強します。 マーケット・オリエンテッド型 ファンネックス・アセット・マネジメント(日本) ファンネックスは、日本株式に特化したブティック型の運用会社で、経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーと優れたアナリストからなるチームが運用を行います。運用プロセスは、市場の短期トレンドや将来中長期的に市場をけん引する投資テーマを分析し、詳細な企業リサーチを基に投資銘柄を選定します。 ラッセル 日本債券ファンド III（適格機関投資家限定） ラッセル 日本債券ファンド III（適格機関投資家限定）の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。 ＜ラッセル 日本債券マザーファンド＞ ラッセル 日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-併合総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。 広範面型 りそな銀行(日本) りそな銀行はデュレーション(金利感応度)戦略、イールドカーブ(利回り曲線)戦略、債券種別選択、個別銘柄選択といった様々な分野で優れたスキルを有しています。金利戦略においては、国内のみならず、海外にも幅広い視野と分析能力を有し、マクロ経済から需給まで精緻な調査活動を行っています。クレジット戦略においても、トップダウン的な観点からの債券種別選択と徹底した企業の信用調査による個別銘柄選択とをバランスよく行います。 広範面型 DIAMアセットマネジメント(日本) DIAMは金利、クレジット/セクターの面戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分では、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。	ラッセル 外国株式ファンド II（適格機関投資家限定） ラッセル 外国株式ファンド II（適格機関投資家限定）の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。 ＜ラッセル 外国株式マザーファンド＞ ラッセル 外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュース型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。 グロース型 マッキンリー・キャピタル・マネジメント(米国) マッキンリーは、株価のモメンタム、企業収益の伸び、および収益面でのポジティブ・サプライズ(予想を上回る決算発表等)に注目する「グロース(成長)型運用」を行います。同社では、まず40,000以上の銘柄を対象に定量的な分析を行うことにより銘柄の絞り込みを行います。この結果に定性的な分析を加え、最終的には45-60銘柄程度から成るポートフォリオを構築します。 グロース型 マーシコ・キャピタル・マネジメント(米国) マーシコは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせた運用を行います。今後株価形成に影響を与えと考えられる市場のテーマおよびマクロ経済見通しをベースに、個別企業について面談を含む詳細な調査を行い、銘柄の絞り込みを行います。テーマやマクロ経済動向の観点を銘柄選択プロセスに織り込むことにより、多様な投資アイデアが生まれ、成長度の高い銘柄の発掘に繋がっています。 バリュース型 ハリス・アソシエイツ(米国) ハリスは、定性および定量分析に基づいて割安な銘柄を発掘し、それらに長期的な観点から投資を行います。具体的には、今後に収益を生み出すことが期待でき、かつ株主を意識した経営を行っている割安な銘柄を投資対象とします。ベンチマークをあまり意識しない運用を行う結果、同社の構築するポートフォリオの国別およびセクター別の配分は、ベンチマークから大きく乖離することもあります。1銘柄、1セクターへのアクティブベットの幅は厳格にコントロールされます。 マーケット・オリエンテッド型 エムエフエス・インスティテュショナル・アドバイザーズ(米国) MFSはファンダメンタルズ分析に重きを置いた銘柄選択を行います。銘柄選択プロセスは、各国に配されたアナリストが各国の事情を加味した企業分析を行った後、当該アナリストから成るグローバル・セクター・チームにおいて国・地域を越えた同業他社との相对比较を行うことにより推奨銘柄を選定、これを基にポートフォリオ・マネージャーが相対的に魅力度の高い銘柄を選択するというものです。ポートフォリオは、緩やかなグロース傾向を持ち、企業規模は市場平均よりやや小型寄りとなります。 マーケット・オリエンテッド型 アロストリート・キャピタル(米国) アロストリートはグローバル株式運用における豊富な経験を生かし、多面的なクオンツ型アプローチにより世界の株式市場に存在する魅力度の高い銘柄を探し出します。同社の主な超過収益の源泉は個別銘柄選択ですが、国やセクターの持つ影響も重視しており、国およびセクターで分けたバスケット毎に投資家行動などに起因する価格の歪みを捉えています。こうした「マトリックス・アプローチ」と呼ばれる手法は同社の調査・運用プロセスの特徴となっており、グローバル株式運用会社としての強みともなっています。 ラッセル 外国債券ファンド III Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定) ラッセル 外国債券ファンド III Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定) ラッセル 外国債券ファンド III Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定) / ラッセル 外国債券ファンド III Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。 ＜ラッセル 外国債券マザーファンド＞ ラッセル 外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。 （ ペーパーファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。 ・Aコース(為替ヘッジあり)：シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース) ・Bコース(為替ヘッジなし)：シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース) Aコースは原則として為替ヘッジ(運用会社：ラッセル・インプリメンテーション・サービシーズ)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。) マクロ・バリュース型 コルテスター・グローバル・インベスターズ(英国) コルテスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安感の強い国の債券および通貨を発掘するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを考慮する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することにより国別および通貨別の配分が決定されます。 一般債量重視型 ビムコ(米国) ビムコの外国債券運用の特徴は、多様な収益源泉に幅広く分散投資を行うことです。国債以外の債券(一般債)への投資を得意としており、モーゲージ証券の運用にはとりわけ優れています。その一方で通貨変動からはあまり大きな影響を受けないような運用を行います。
(当資料には2010年11月10日現在採用の主な運用会社名が記載されており、各ファンドの運用会社構成は、ラッセル・インベストメント・グループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。)	

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆ファンド概況

	2012/04/27
基準価額	10,000円
純資産総額(百万円)	36,186

設定日	2000年6月5日
信託期間	無期限
決算日	毎日
信託報酬	年1%以内 (4/27現在) 年 0.025%

・決算日の基準価額が1口当たり1円を下回っている場合には、追加設定は行いません。

◆ファンドの特色

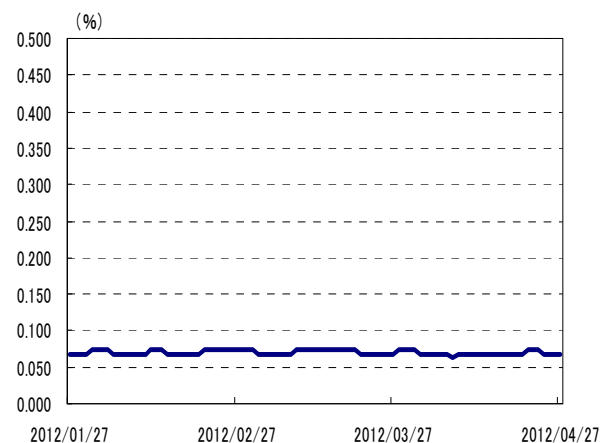
信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。
毎日決算を行い運用の実績に応じて分配します。
収益分配金は、毎月まとめて再投資されます。

◆資産構成

項目	評価金額(円)	組入比率(%)
公社債	22,996,591,116	63.55
(うち固定債)	(22,996,591,116)	63.55
(うち変動利付債)	(0)	0.00
短期金融資産	14,689,155,000	40.59
(うちコールローン)	(3,191,000,000)	8.82
(うちCD)	(0)	0.00
(うちCP)	(0)	0.00
(うち現先・レポ)	(11,498,155,000)	31.77
(うち割引手形)	(0)	0.00
その他資産	-1,499,354,127	-4.14
純資産総額	36,186,391,989	100.00

・比率は純資産総額に対する割合です。
・固定債：変動利付債以外の債券。
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。
・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

◆直近7日間の年換算利回りの推移(直近3ヵ月)



◆債券の平均残存年数

平均残存年数	0.149年
--------	--------

・平均残存年数：各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。
変動利付債の残存年数は、次回利払日までとして計算しています。

◆債券の平均利率

平均利率	0.000%
------	--------

・平均利率：各債券のクーポンを債券の額面で加重平均したものです。

◆組入資産の種類別残高および組入比率

区分	組入比率 (%)	残存期間別組入比率(%)			
		3ヵ月以内	6ヵ月以内	1年以内	1年超
国債証券	63.55	59.41	4.14	0.00	0.00
地方債証券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
特殊債証券 (除く金融債)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金融債券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
普通社債券	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コールローン	8.82	8.82	0.00	0.00	0.00
CD	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
CP	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
現先・レポ	31.77	31.77	0.00	0.00	0.00
割引手形	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他資産	-4.14	-4.14	0.00	0.00	0.00
合計	100.00	95.86	4.14	0.00	0.00

・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。
・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

■本資料は、三菱UFJ投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります（ただし、特約を付加した場合や一定期間の解約等には別途「特定の取引のご契約者にご負担いただく費用」がかかりますのでご注意ください）。

●運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項 目	内 容	費 用
保険関係費用 （保険契約管理費）	当保険の新契約成立および維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率1.65%
資産運用関係費用* （資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用 （詳しくは「特別勘定のしおり」をご覧ください。）	特別勘定の投資対象となる投資信託の 純資産総額に対して 上限年率1.291%程度（税込）

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがってお客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

●ご契約の内容及取引の内容及による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項 目	内 容	費 用
年金原資保証特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率0.70%程度
年金原資加算特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率1.00%程度
積立金移転費用	1 保険年度12回を超える積立金の移転の際	1 保険年度13回以上の移転の際1回あたり1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.65%
解約控除	解約したとき	積立金額に対して7%～2%（経過年数に応じて）

●年金受取期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

項 目	内 容	費 用
保険関係費用 （年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	受取年金額に対して1.0%

投資リスクについて

この商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額などの増減につながるため、高い収益性が期待できる反面、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、ご契約者に帰属することになりますので十分にご注意ください。また、積立金の移転を行った際には、選択した特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

募集代理店

引受保険会社



東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社

〒141-6008 東京都品川区大崎二丁目1番1号ThinkPark Tower
TEL.03-6420-4000（大代表）
ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは

0120-155-730

受付時間:月～金／9:00～17:30（祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）